

## ・競技本部執行方針（案）

昨年度の事業運営に多大なるご協力を賜りまして心から感謝申し上げます。

競技本部は、今期からスノーボード競技会が加わり、多種多様な事業に取り組むこととなります。競技スキー人口の減少を全役員が、危機感としてとらえ、一昨年から「スポーツ・フォア・ザ・オール」の観点から、開かれた競技会を目標に新たな競技者層の発掘に力を入れてきましたが、今期も競技本部の基本方針として継承していきます。

競技本部として選手強化を視野の中に入れ、各委員会の事業が時代のニーズにあった競技会及び、選手の安全を最優先した運営を目標に、携わる指導者の育成も継続して強化してまいります。

私達はスキー界のリーダーとして1人でも多くの人にスキーの楽しさを伝え、スキー界の活性化に努力を惜しまず、競技会の運営、選手強化の目標のために各種の事業を展開してまいります。目標達成には各市協、各団体の皆様のご理解と、積極的な参加が必要不可欠であり、一層のご協力を頂き、上記の基本方針のもとに以下の活動を展開します。

### 1・選手強化

ジュニアの普及、育成は順調に進んでいます。特に今期から小学生高学年を対象に長期的な展望にたち、神奈川県体育協会と連携し、新たに長期育成強化をスタートさせていきたいと思っております。

シニア強化については、国体を目標に対象選手の短年度強化を図ってきましたが、十分な強化が図れず、今期は特に優秀な選手の長期的な強化をはかり、安定した成績が残せる選手の強化を進めてまいります。又、ノルディック、フリースタイル、ボード各部、選手の減少化が進み、危機感を持ってジュニアを含み選手の発掘に努力してまいります。

### 2・指導者育成

参加選手の多様化と、マテリアルの著しい進歩と普及に伴いアルペン競技の危険性が益々高まりつつあります。有資格者の育成と、組織内部での積極的な指導者育成に努め、参加選手がより楽しく感じるような、そしてまた選手の安全性を最優先したレース運営ができる力を持った指導者を育成したいと考えています。

又、各部選手強化には質の高いコーチングが求められています。選手強化に携わる指導者には、実力をつけるべく勉強・情報収集により自己啓発を促し、質の高い指導者育成を目指し、県体協と連携して進めてまいります。

### 3・大会運営

昨年テストケースとして2事業を現地委託として開催いたしましたが、今期は3事業を現地委託とし、レースの質を高めながら経費の削減に努めたいと思っております。

又、現在トーエル(株)さんが、1事業メインスポンサーとしてご協力いただいておりますが、今期は各委員会1事業を目標に協賛企業探しにも力をいれたいと思っております。

以上